

(様式第 7 号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 5 年 6 月 26 日

作成者：寺井正文

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
AC 28 期ふたば会古文書に親しむ会	
事業名	日時 (期間), 場所
オンライン研究会へ参加	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月
内容 (実績) ＊実施したことを具体的に	受益者数
コロナ禍の中昨年に引き続き地域の歴史研究家との交流と地域の歴史史料の保存・継承。 ・舞鶴地方史研究会との交流及び地域の歴史史料の保存・継承 舞鶴竹屋町「触留」を放送大学の先生と舞鶴地方史研究会の会員と翻刻を行い地域の住民の方が利用できるようにした。 ・神戸大学近世地域史研究会との交流及び地域 (姫路・岡山・芦屋・尼崎・宝塚) の歴史研究家と史料を翻刻し、地域の住民の方が利用できるようにした。	(160) 人
	参加者数
	(/ 60) 人
成果 (社会へのインパクト) ＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
歴史史料 (現在では一般の人には読めない文書) を現代の人に読めるようにすることで、歴史史料を保存・継承し、地域の歴史遺産にする役に立てた。 大学関係者 (千葉大学、放送大学、神戸大学) や地方の歴史関係者 (舞鶴地方史研究会) と意見を交換した。 芦屋の方が前田集会室の紹介で新規会員となっていただいた。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
コロナ禍のためオンライン研究会であり、一般地域住民の方との交流はほとんど出来なかったが、令和 5 年 1 月より一部対面で再開し、地域住民の方と交流し意見交換を行った。	